

## 聖心幼稚園における自己点検・自己評価

学校法人聖心幼稚園

評価期日；令和3年9月13日

評価者名；松下裕子、足立順子

### 評価記号

A：たいへんよい      B：よい      C：一部検討を要する      D：改善を要する

### 《教育課程の編成と実施に関する評価》

項目	内容	評価				意見、改善策
		A	B	C	D	
保育・教育目標について	(1) 保育・教育目標の具現化に向け、幼児の実態を踏まえた順天目標を設定しているか。		○			学期ごとに全職員で田の字法による振り返りを行い、次学期に向けての方向性を明確にしたり、課題に対する改善点を話し合っている。8月6日実施。
	(2) 目標は、園や地域の特色を生かしているか。		○			
	(3) 目標は、社会の要請や保護者の願いを反省しているか。		○			
	(4) 目標は、前年度の反省を生かしているか。		○			
	(5) 目標は、全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか。		○			
指導について	(1) 指導計画は幼児の実態に即して作成しているか。		○			幼児の実態に沿った計画ができるように指導計画の中に幼児の姿を記載する欄を設けている。さらに、1幼児期の終わりまでに育てたい姿（10の姿）を意識した記載をしている。評価欄には、環境構成・遊び活動・保育者のかかわりを意識した記載をし、翌週に生かすようにしている。
	(2) 幼稚園教育要領に基づく指導援助を適切に行っているか。		○			
	(3) 環境の構成を意識した指導の方法や過程を常に工夫しているか。		○			
	(4) 教材・教具を適切に活用しているか。		○			
	(5) 評価結果を基に、指導の改善につとめているか。		○			
教育週数教育時間	(1) 教育週数を確保しているか。	○				
	(2) 登園・降園時刻と一日の流れは現行でよいか。	○				
行事について	(1) 行事の種類や実勢回数は適切か。		○			コロナ禍で計画したことが十分にできていないが、内容を工夫するなどして、幼児にとって必要な経験や学びを保障できるように努めている。
	(2) 行事のねらいを計画や実施に充分いかしているか。		○			
	(3) 幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしているか。		○			
	(4) 計画・実践・評価・改善の体制をとっているか。	○				
	(5) 保護者の願いや意見をとりいれているか。		○			

《教育課程の編成と実施を支える諸条件に関する評価》

項目	内容	評価				意見、改善策		
		A	B	C	D			
経営・組織	分掌・体制	(1) 能率的、合理的な運営組織になっているか。		○			細かな園務分掌作成・役割分担はしているが、全職員で取り組んでいる。	
		(2) 職務内容が明確で、共同できる体制になっているか。		○				
		(3) 職員の配置は、適材適所か。		○				
		(4) 係や仕事の分担・割り当ては適切か。		○				
	運営	(1) 各種会議を適切かつ効率的に進めているか。		○			月1回の職員会、月1回の各クラスのミーティングの実施。時間に制限があるため、事前にレジュメを配布し、協議内容を周知しておく。	
		(2) 教職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく園の運営にかかわっているか。		○				
		(3) 職員の配置は、適材適所か。打合せ回数、時間、内容は適切か。		○				
	学年・学級経営	(1) 学年・学級目標は、保育・教育目標や重点目標に基づいて設定しているか。	○				発達個人差が大きく、教育課程の学年目標の見直しの必要も感じる。 職員会やミーティングも時間に制限があるため、十分な話し合いができていない現状もある。掲示や録画配信など、工夫していきたい。	
		(2) 学年・学級目標は、幼児の実態に即して設定しているか。			○			
		(3) 学年・学級目標に迫る短期・長期のねらいは適切に設定しているか。		○				
		(4) 同年齢及び異年齢児間の効果的な活動の充実を図っているか。		○				
		(5) 意義や趣旨を理解したチーム保育を行っているか。			○			
		(6) 評価、資料（諸記録）を集積しているか。		○				
	保健・安全指導	(1) 学年・学級経営に生かされるような具体的保健対策を講じているか。		○			コロナ対策により、保健衛生面の意識が高まっている。避難訓練は、園内では行っているが、地域や関係機関との連携が弱い。	
		(2) 避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか。		○				
		(3) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。		○				
		(4) 幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関と連携を図っているか。			○			
	研究・研修	園内研究・研	(1) 研究主題は、保育・教育目標の具現化につながるものか。	○				教育研究を継続的に取り組んでいる。8月に研究発表を行った。主体的に取り組む姿が多く見られるようになったことは、成果だと捉えることができる。
			(2) 園内研修の計画・運営は適切か。		○			
			(3) 研究の成果が日常の保育に生かし、幼児の育ちに反映されているか。	○				
(4) 研究の実践による幼児理解が深まりを見せているか。				○				
園外研		(1) 各種研究会、研修会、講習会への参加態勢の充実を図っているか。		○			オンライン研修は受講しやすくなったが、人手不足により受講人数に制限があることが課題である。	
		(2) 各種研究会、研修会、講習会での内容を園内に還元しているか。		○				
情報について		(1) 幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っているか。		○			ICT化を進め、表簿類のデジタル化に取り組んでいきたい。	
		(2) 公文書收受、発送、処理を適切に行っているか。		○				
	(3) 各表簿は、適切な時間・方法で作成しているか。			○				

施設・設備	(1) 園舎・園庭の施設・設備の安全点検を計画的に行っているか。	○			毎学期に点検を行っている。今年度は、業者による遊具点検を行うことにした。カメラ付きインターフォンはあるが、防犯の観点からは不安があるため、訓練が必要だと思われる。		
	(2) 遊具・用具・教材などを、活用しやすいように整理・保管しているか。		○				
	(3) 不審者などに対応する周到な配慮を行っているか。			○			
	(4) 掲示板、掲示場所を適切にかつ効果的に活用しているか。			○			
出納経理	(1) 各種会計を適正かつ適切に処理しているか。	○					
開かれた幼稚園づくり	学校間交流・連携	(1) 学校との年間交流計画は、保育・教育目標や課題に添ったものになっているか。		○		コロナ感染症拡大により、小学校との交流活動もできていない。教職員同士の合同研修会などができれば良いと感じている。	
		(2) 学校の児童生徒と触れ合う中で、幼児が楽しく過ごし、充実感を味わうことができるような配慮や援助・指導を行っているか。					○
		(3) 指導者同士が、打合せや事前研修・合同研修を行い、互いの教育に対する理解を深め、援助について共通理解を図っているか。					○
		(4) 参観や指導に参加するなどして、他校種の教育を理解しているか。		○			
		(5) 日常的に情報を交換し、それを交流活動に生かしているか。					○
	家庭との連携	(1) 参観時間を制限せず、保護者以外にも対象にした参観日を設定しているか。				○	コロナ感染症拡大のため、ちいきに出かけたり、地域行事に参加することができない。他の方法で、地域とのかかわりを持つ方法を考えていきたい。
		(2) 保護者を含む地域の人材活用の時間・内容は適切か。		○			
		(3) 幼児の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流しているか。				○	
		(4) 地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。				○	
	子育て支援の推進	(1) 地域の子育て支援センターとして。園庭、保育室などを開放しているか。				○	コロナ感染症拡大のため、十分な子育て支援事業ができていない。ICTを活用した支援も考えていきたい。
		(2) 地域に住む子ども同士、あるいは親子と一緒に遊ぶことができるような場の設定を行っているか。				○	
		(3) 地域の実態を捉え、計画的な預かり保育を行っているか。	○				
		(4) 「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか。				○	
		(5) 教職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。				○	
		(6) 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供しているか。				○	
	情報の発信	(1) 園だより・クラスだより、ホームページ等で園の情報を発信しているか。	○				家庭や保護者に対しては十分にできているが、地域への発信が不十分である。
		(2) 行事や子育て支援事業等を地域の連絡会や他校種に対して周知しているか。				○	
	評価部	地域や保護者の意見を園運営に反省しているか。				○	参観日後にアンケート実施。結果を公表。 2学期に計画訪問実施。

# 自己評価結果公表シート

作成；学校法人聖心幼稚園

作成日；令和3年11月20日

## 1. 本園の教育目標

わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。（ヨハネ15：5）

1. 神の存在を知り、さまざまな神の恵みと祝福を感じながら、イエスと共に生きようとする思いや生活態度を育てる。
2. 明るくのびのびと行動し、健康で安全な生活に必要な基本的生活習慣や態度を育てる。
3. 他の人々と親しみ、愛情や信頼感を持って、お互いに支え合って生活していくための自立心と人とかかわる力を養う。
4. 身近な環境にかかわり、発見したり、考えたりしながら、物を大切に作る心や命の大切さや思いやりの気持ちを養う。
5. 自分の考えや思いを言葉で表現したり、相手の話を聞く意欲や態度を育てる。
6. 生活の中で心を動かす体験を通して、豊かな感性や表現力・想像力を育てる。

## 2. 本年度、重点的に取り組む目標

教育研究テーマ「意欲的・主体的に取り組む子ども～子どもの主体性と保育者の意図～」について、全職員で取り組む。

○教育研究の実践を日々の保育の中で取り組む

○意欲的・主体的に取り組むことができる環境構成・遊びや活動・援助を工夫する

○園内研修の充実を図る

## 3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
幼稚園の教育課程の編成・実施、教育研究テーマに関して、教職員の共通理解を図る。	年度初めの職員会で、教育課程や目標、教育研究の内容の確認を行なった。現時点では不十分な点が見られるので、ミーティングや職員会、毎日の終礼での話し合いで、子どもの実態に即した共通理解を深めていきたい。
子どもの実態を的確につかみ、具体的な手立てを講じる。	発達に大きな個人差が見られるため、一人ひとりの幼児理解を深め、その子に合わせた援助や配慮を行っている。
学期ごとに各クラスの経営の成果と課題を報告する。	夏休み中に全職員での研修、1学期の振り返りを行った（田の字法）。
意欲的・主体的に取り組むための環境を構成する。	8月の研究発表に向けて、資料を整理することで、実践した環境構成について確認や見直しができる。
遊びや活動の中で、意欲的・主体的に取り組む姿を捉える。	記録に残していく。コドモンアプリによって家庭や保護者にその姿をタイムリーに配信する。
子どもの主体性と保育者の意図をバランスよく絡み合わせる。	子どもの主体性と保育者の意図のバランスを、毎日の振り返りや週日案での評価で考察している。
教育の質の向上のために、園内研修を充実させる。	全職員そろっての研修ができにくいため、日々の保育教育活動が研修になるように心がけている。さらに工夫していきたい。
保護者のニーズの把握につとめ、要望や苦情に適切な対応を図る。	参観日後にアンケートを取り、集計して公表した。ある程度のニーズ把握はできているが、発信できない保護者の思いに寄り添う工夫が必要と思われる。

幼稚園の状況を踏まえて、中・長期的なビジョンを計画を策定する。	中・長期的なビジョンや計画の策定はできていない。
園の財務状況を積極的に公開する。	ホームページへの公開を行っている。(5月)

#### 4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

◎⇒大変良い    ○⇒よい    △⇒不十分    ×⇒努力が必要

評価	理由
○	教育研究テーマについて全職員で取り組む体制が構築され、教職員の意識の中にもテーマを踏まえた保育の実践ができており、その成果が子どもの成長した姿の中から感じ取ることができる。継続的な取り組みの成果でもあるので、引き続き努力したい。 勤務形態の異なる職員集団の為、全職員で研修をすることがなかなかできない状況である。研修の在り方や内容を工夫することで、課題解決をしていきたい。

#### 5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
意欲的・主体的な子どもを育てるための家庭との連携を深める。	基本的な生活習慣の自立などについて、家庭や保護者と一緒に取り組んでいくことが必要な部分もある。これまで取り組んできている送迎時のやりとり、連絡帳でのやりとり、クラスだよりでの発信の他にも、参観の機会を増やしたり、コドモンアプリを活用した発信を工夫したい。
全職員の共通理解の方法の工夫。	田の字法による振り返りシートをよく見えるところに掲示し、誰でも見ることができるようにする。また、職員研修の様子を録画し、参加できなかった職員に見てもらうなど、より分かりやすい方法を実践する。

#### 6. 学校関係者評価委員会の意見

・先日の保育参観での気づき⇒2歳児が園庭で遊んでいるときトイレにいった子がいた。引率の先生が一人抜けることで、園庭遊びの見守りの人数が減り不安だった。職員室の先生などの協力体制を作ってはどうか。

・年長組の参観での気づき⇒なりきる遊びを年間の教育テーマの中に取り込んでいるのが良い。学校でもそのような場面がある。小学校へ上がる準備ができています。生活習慣もきちんと取り組んでいる。

・週日案などの指導計画やお便り・ICT活用などの取組について⇒熱心に取り組んでいる先生方が疲弊しては保育に影響する。簡潔にできるところはしてはどうか。

・地域とのコミュニティとしてなにができるだろうと考えていく⇒幼稚園保育園と小中学校のつながりをもっとあって、情報共有ができれば良いと思う。そして将来子どもたちが地域が好きという気持ちが育ってくれたらと思う。